

熊本大学における組織評価実施要領

平成19年4月26日
大学評価会議決定

(趣旨)

第1 この要領は、熊本大学における組織評価指針(平成19年4月26日制定)(以下「指針」という。)第6条の規定に基づき、組織評価の実施に関し必要な事項を定める。

(組織評価の対象及び領域)

第2 組織評価の対象となる組織(以下「学部等」という。)及び当該組織が実施する組織評価の領域は、別表1のとおりとする。

(実施体制)

第3 組織評価の対象となる組織の長(以下「学部長等」という。)は、組織評価を実施するに当たって評価委員会等を設置する。

2 評価委員会等は、当該学部等における組織評価の実施に関して必要な事項を定め、組織評価の実施に当たる。

(評価項目等)

第4 「教育」、「研究」及び「管理運営」の領域に関する評価基準ごとの評価項目、評価の観点及び根拠となる資料・データは、別表2のとおりとする。ただし、学部等の目的や状況に応じて、独自の評価の観点及び根拠となる資料・データを加えることができる。

2 「その他」の領域に関する組織評価の評価基準、評価項目、評価の観点及び根拠となる資料・データは、指針第4条第4項の規定に基づき、当該学部等において定める。

(組織評価の方法)

第5 学部等は、当該組織の目的に即し、次の事項によって組織評価を実施する。

- (1) 観点ごとの分析
- (2) 優れた点及び改善を要する点の抽出
- (3) 水準の判断
- (4) 質の向上度の判断

(自己評価書の作成)

第6 組織評価に係る自己評価書の作成は、別に定める作成要領による。

別表 1

組織評価の対象となる組織及び当該組織が実施する組織評価の領域

| 組 織 名 | 組織評価の領域 | | | |
|------------------|---------|-----|------|-------|
| | 教 育 | 研 究 | 管理運営 | そ の 他 |
| 文学部 | | | | |
| 文学研究科 | | | | |
| 法学部 | | | | |
| 法学研究科 | | | | |
| 社会文化科学研究科 | | | | |
| 法曹養成研究科 | | | | |
| 教育学部 | | | | |
| 教育学研究科 | | | | |
| 教育学部附属小学校 | | | | |
| 教育学部附属中学校 | | | | |
| 教育学部附属特別支援学校 | | | | |
| 教育学部附属幼稚園 | | | | |
| 理学部 | | | | |
| 工学部 | | | | |
| 自然科学研究科 | | | | |
| 沿岸域環境科学教育研究センター | | | | |
| 衝撃・極限環境研究センター | | | | |
| 医学部保健学科 | | | | |
| 医学部医学科 | | | | |
| 医学教育部 | | | | |
| 医学部附属病院 | | | | |
| 薬学部 | | | | |
| 薬学教育部 | | | | |
| 医学薬学研究部 | | | | |
| 生命資源研究・支援センター | | | | |
| エイズ学研究センター | | | | |
| 発生医学研究センター | | | | |
| 教養教育実施機構 | | | | |
| 大学院先導機構 | | | | |
| 総合情報基盤センター | | | | |
| 地域共同研究センター | | | | |
| 留学生センター | | | | |
| 大学教育機能開発総合研究センター | | | | |
| 政策創造研究教育センター | | | | |
| 環境安全センター | | | | |
| 五高記念館 | | | | |
| eラーニング推進機構 | | | | |
| 附属図書館 | | | | |
| 保健センター | | | | |

「その他」の領域の例：「診療」、「教育研究支援」、「社会貢献」、「初等教育」

A 教育

| 評価基準 | 評価項目 | 評価の観点 | 根拠となる資料・データ | 整理番号 | 資料・データ例 | |
|---|--|---|---|---|--|------------------------------|
| 1 教育の目的 | 1-1 学部等の教育の目的(教育活動を行うに当たっての基本的な方針、達成しようとしている基本的な成果等)が明確に定められていること。 | 1 目的として、教育活動を行うに当たっての基本的な方針や、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとする基本的な成果等が、明確に定められているか。 | ・学則等の該当箇所 | A1-1-1-1 | 学部等概要(該当箇所) | |
| | | 1-2 目的が、学部等の構成員に周知されているとともに、社会に公表されていること。 | 1 目的が、学部等の構成員(教職員及び学生)に周知されているか。 | ・学生便覧、履修要項等、学生が参照する冊子の該当箇所 ・学部等の目的が明記された教職員用の冊子の該当箇所 ・教職員の会議等で周知のための取組がなされている場合には、その議事録等 ・授業や新入生ガイダンス等で周知のための取組がなされている場合には、その記録や資料等 ・教職員研修等で周知のための取組がなされている場合には、その記録や資料等 ・教職員及び学生に対する学部等の目的の認知度に関するアンケート等が行われている場合には、その結果等周知の程度や効果を示すデータ | A1-2-1-1 | 学生への周知を示す資料(履修要項、ガイダンス配付資料等) |
| | A1-2-1-2 | | | | 教職員への周知を示す資料(教職員への配付資料、研修や会議における配付資料等) | |
| | A1-2-1-3 | | | | 教職員及び学生の認知度を示す資料 | |
| | 2 目的が、社会に広く公表されているか。 | | ・学部等の目的が明記された概要等の冊子の該当箇所 ・学部等の目的が明記されたウェブサイトの掲載箇所 ・入試説明会、ガイダンス等で公表されている場合には、そのパンフレット等の該当箇所 ・公表の程度や効果を示すデータ(冊子等の配布先、配布数、ウェブサイトの利用状況等) | A1-2-2-1 | 学部等概要(該当箇所) | |
| | | | | A1-2-2-2 | 学部等ウェブページ(該当箇所) | |
| | | | | A1-2-2-3 | 入試説明会、ガイダンス等の配付資料 | |
| | A1-2-2-4 | 公表の程度や効果を示すデータ(冊子等の配布先、配布数、ウェブサイトの利用状況等) | | | | |
| | 2 教育の実施体制 | 2-1 学部等の教育に係る基本的な組織構成(学部及びその学科、研究科及びその専攻、その他の組織並びに教養教育の実施体制)が、学部等の教育の目的に照らして適切なものであること。 | 1 学部及びその学科の構成(学科以外の基本組織を設置している場合には、その構成)が、学士課程における教育目的を達成する上で適切なものとなっているか。 | ・学部及びその学科の構成(学部、学科以外の基本的組織を設置している場合には、その構成)が把握できる資料 | A2-1-1-1 | 学部等概要(該当箇所) |
| | | | | | A2-1-1-2 | 学部等ウェブページ(該当箇所) |
| | | | | | A2-1-1-3 | 指標1-1 全学生数に対する課程別学生数の比率 |
| | | | 2 教養教育の体制が適切に整備され、機能しているか。 | ・教養教育を実施するための体制(全学共通教育委員会等)が把握できる資料 ・教養教育の内容等に関する検討状況が把握できる議事録等 | A2-1-2-1 | 教養教育実施体制が把握できる資料 |
| A2-1-2-2 | | | | | 教務委員会等の議事録等 | |
| 3 研究科及びその専攻(専攻以外の基本的組織を設置している場合には、その構成)の構成が、大学院課程における教育目的を達成する上で適切なものとなっているか。 | | | ・研究科及びその専攻の構成(研究科、専攻以外の基本的組織を設置している場合には、その構成)が把握できる資料 | A2-1-3-1 | 大学院等概要(該当箇所) | |
| | | | | A2-1-3-2 | 大学院等ウェブページ(該当箇所) | |
| | | | | A2-1-3-3 | 指標1-1 全学生数に対する課程別学生数の比率 | |
| 4 別科、専攻科については、その構成が教育目的を達成する上で適切なものとなっているか。 | | ・別科、専攻科の構成が把握できる資料 | A2-1-4-1 | 別科、専攻科概要(該当箇所) | | |
| | | | A2-1-4-2 | 別科、専攻科ウェブページ(該当箇所) | | |
| 2-2 教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。 | | 1 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っているか。 | ・当該事項を審議するための組織の構成図、運営規則等 ・当該事項の審議内容を記した教授会等の議事録等 | A2-2-1-1 | 教授会規則 | |
| | | | | A2-2-1-2 | 教授会の議事録等 | |
| | 2 教育課程や教育方法等を検討する教務委員会等の組織が、適切な構成となっているか。また、必要な回数の会議を開催し、実質的な検討が行われているか。 | ・各種委員会の組織構成図、運営規則等 ・当該事項の審議内容を記した教務委員会等の議事録等 | A2-2-2-1 | 各種委員会の組織構成図 | | |
| | | | A2-2-2-2 | 各種委員会の規則 | | |
| | | | A2-2-2-3 | 各種委員会の議事録等 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| 3 教員及び教育支援者 | 3-1 教育課程を遂行するために必要な教員が適切に配置されていること。 | 1 教員組織編成のための基本的方針を有しており、それに基づいた教員組織編成がなされているか。 | ・教員組織編成の基本方針 ・学科や専攻等ごとの教員の配置状況 | A3-1-1-1 | 教員組織編成の基本方針 |
| | | | | A3-1-1-2 | 専任教員数(職名別・男女別、みなし専任の内数) |
| | | | | A3-1-1-3 | 本務教員数(職名別・男女別) |
| | | | | A3-1-1-4 | 本務教員数(年齢区分別・職名別) |
| | | | | A3-1-1-5 | 本務教員数(取得学位別・職名別) |
| | | | | A3-1-1-6 | 本務教員数(専門分野別・職名別) |
| | | | | A3-1-1-7 | 指標6 学生教員比率 |
| | | | | A3-1-1-8 | 指標7-2 女性教員率 |
| | | | | A3-1-1-9 | 指標7-2-1 女性教員率と女子学生率との比率 |
| | | | | A3-1-1-10 | 指標8-3 本務教員の年齢構成分布 |
| | | | | A3-1-1-11 | 指標9-4 本務教員の博士学位取得率 |
| | | | | A3-1-1-12 | 指標10-4-2 本務教員の自大学からの学位取得者割合 |
| | | | | A3-1-1-13 | 指標11 本務教員の専門分野別割合 |
| | | | | A3-1-1-14 | 学内兼務教員数(職名別) |
| | | | | A3-1-1-15 | 学外兼務者数(教員) |
| | | | | A3-1-1-16 | 学外兼務者数(教員以外) |
| | | | | A3-1-1-17 | 指標12-1学内兼務者率 |
| | | | | A3-1-1-18 | 指標13-2学外兼務者率 |
| | | 2 教育課程を遂行するために必要な教員が確保されているか。 | ・学科や専攻等ごとの教員の配置状況 | A3-1-2-1 | 02-01 専任教員 |
| | | 3 学士課程において、必要な専任教員が確保されているか。 | ・学科等ごとの専任教員数 | A3-1-3-1 | 02-01 専任教員 |
| | 4 大学院課程(専門職大学院課程を除く。)において、必要な研究指導教員及び研究指導補助教員が確保されているか。 | ・専攻等ごとの研究指導教員数及び研究指導補助教員数 | A3-1-4-1 | 研究指導教員数(職名別・男女別) | |
| A3-1-4-2 | | | 研究指導補助教員数(職名別・男女別) | | |
| A3-1-5-1 | | | 02-01 専任教員 | | |
| | 5 専門職大学院課程において、必要な専任教員(実務の経験を有する教員を含む。)が確保されているか。 | ・専攻等ごとの専任教員数及び実務経験教員数 ・実務経験教員の実務経験が把握できる資料 | A3-1-5-2 | 02-07 本務教員(学外経験別) | |
| A3-1-5-3 | | | 実務経験教員数及び実務経験が把握できる資料 | | |
| A3-1-6-1 | | | 指標7 女性教員率 | | |
| | 6 学部等の目的に応じて、教員組織の活動をより活性化するための適切な措置(例えば、年齢及び性別のバランスへの配慮、外国人教員の確保、任期制や公募制の導入等が考えられる。)が講じられているか。 | ・教員組織の活動をより活性化するための適切な措置が把握できる資料 ・教員年齢や性別の一覧 ・外国人教員や実務経験教員の確保がなされている場合には、外国人教員や実務経験教員の任用状況 ・任期制や公募制を導入している場合には、その実施状況及び規則 ・優秀教員評価制度を導入している場合には、その概要及び実施状況 | A3-1-6-2 | 指標8 本務教員の年齢構成分布 | |
| A3-1-6-3 | | | 外国人教員、実務経験教員数 | | |
| A3-1-6-4 | | | 任期制・公募制に関する資料(関連規則含む。) | | |
| A3-1-6-5 | | | 教員表彰制度に関する資料 | | |
| A3-2-1-1 | | | 教員選考規則 | | |
| 3-2 教員の採用及び昇格等に当たって、適切な基準が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。 | 1 教員の採用基準や昇格基準等が明確かつ適切に定められ、適切に運用がなされているか。特に、学士課程においては、教育上の指導能力の評価、また、大学院課程においては、教育研究上の指導能力の評価が行われているか。 | ・教員の採用基準、昇格基準 ・学士課程における教育上の指導能力に関する評価の実施状況把握できる資料 ・大学院課程における教育研究上の指導能力に関する評価の実施状況を把握できる資料 | A3-2-1-2 | FDの実施状況を示す資料 | |

| | | | | | | | |
|---|-------|-----|--|---|--|--|--|
| | | 2 | 教員の教育活動に関する定期的な評価が行われているか。また、その結果把握された事項に対して適切な取組がなされているか。 | ・授業評価アンケート等の実施状況 ・教育活動に関する自己評価の実施状況 ・学部等内部の自己評価委員会の活動実績と規則、議事録等 | A3-2-2-1 A3-2-2-2 A3-2-2-3 A3-2-2-4 A3-2-2-5 | 「授業改善のための学生アンケート」調査(調査票、実施概要等) 教員個人活動評価(要領、実施概要等) FDの実施状況を示す資料 FD委員会規則 FD委員会の議事録等 | |
| | 3-3 | 1 | 教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われていること。 | ・教員の研究活動と教育内容の関連が把握できる資料 | A3-3-1-1 | 教員の研究活動と教育内容の関連が把握できる資料(例示) | |
| | 3-4 | 1 | 教育課程を遂行するために必要な教育支援者の配置や教育補助者の活用が適切に行われていること。 | ・教務関係事務組織図及び事務職員の配置状況が把握できる資料 ・教育活動に関わる事務分掌が把握できる資料 ・教育活動に関わる技術職員、TA等の配置状況、活用状況が把握できる資料 | A3-4-1-1 A3-4-1-2 A3-4-1-3 A3-4-1-4 A3-4-1-5 A3-4-1-6 A3-4-1-7 | 教務関係事務組織図(事務職員の配置状況が把握できる資料) 事務分掌規則(該当箇所) 02-10 職員 04-10TA・RA 指標14 本務教員あたりの職員数 指標19 TA採用状況(大学院) 指標20 TA採用状況(学部) 指標21 RA採用状況 | |
| 4 | 学生の受入 | 4-1 | 1 | 教育の目的に沿って、求める学生像や入学受入方針(アドミッション・ポリシー)が明確に定められ、公表、周知されていること。 | ・入学受入方針(アドミッション・ポリシー)本文 ・入試説明会時の資料、学生募集要項等、入学受入方針(アドミッション・ポリシー)が記載されている刊行物の該当箇所 ・入学受入方針(アドミッション・ポリシー)が記載されているウェブサイトの掲載箇所 ・公表・周知の程度や効果を示すデータ(刊行物の配布先、配布数、ウェブサイトの利用状況等) | A4-1-1-1 A4-1-1-2 A4-1-1-3 A4-1-1-4 A4-1-1-5 | アドミッション・ポリシー(入学受入方針) ウェブページ(該当箇所) 入学者選抜要項 募集要項 刊行物の配布先、配布数等公表・周知の程度や効果を示すデータ |
| | 4-2 | 1 | 1 | 入学受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切な学生の受入が実施され、機能していること。 | ・入学者選抜要項 ・入学試験実施状況 ・面接要領 ・過去3年程度の入試問題 | A4-2-1-1 A4-2-1-2 A4-2-1-3 A4-2-1-4 | 入学者選抜要項 入学試験に関する調査・統計 面接要領 過去3年の入試問題 |
| | | 2 | 2 | 入学受入方針(アドミッション・ポリシー)において、留学生、社会人、編入学生の受入等に関する基本方針を示している場合には、これに応じた適切な対応が講じられているか。 | ・留学生、社会人、編入学生のための入学受入要項 ・留学生、社会人、編入学生のための入学試験実施状況 ・留学生、社会人、編入学生のための面接要領 ・留学生、社会人、編入学生のための過去3年程度の入試問題 | A4-2-2-1 A4-2-2-2 A4-2-2-3 A4-2-2-4 A4-2-2-5 A4-2-2-6 | 入学者選抜要項 入学試験に関する調査・統計 面接要領 過去3年の入試問題 指標4 社会人学生割合 指標5 課程別留学生の割合 |
| | | 3 | 3 | 実際の入学受入が適切な実施体制により、公正に実施されているか。 | ・入試委員会等の入学受入実施体制が把握できる資料 ・入試委員会等の実施組織の規則 | A4-2-3-1 A4-2-3-2 | 入学受入の実施体制が把握できる資料 入試委員会の規則 |
| | | 4 | 4 | 入学受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学受入の改善に役立てているか。 | ・学生の受入状況を検証し、入学受入の改善を図るための会議等の規則 ・学生の受入状況を検証し、入学受入の改善を図ったことを示す議事録等 | A4-2-4-1 A4-2-4-2 | 入試委員会の規則 入試委員会の議事録等 |

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|-----------|--|
| 4-3 | 実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。 | 1 | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか、また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・入学者の状況(入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等)を示す資料 ・学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を図ったことを示す講義録等 | A4-3-1-1 | 入学試験に関する調査・統計 |
| | | | | | A4-3-1-2 | 入学試験委員会議事録 |
| | | | | | A4-3-1-3 | 03-07 学部等入試状況(前歴別) 03-08 大学院入試状況(前歴別) |
| | | | | | A4-3-1-4 | 03-09 編入学者 |
| | | | | | A4-3-1-5 | 学生数(年次別・男女別、社会人数) |
| | | | | | A4-3-1-6 | 入学定員 |
| | | | | | A4-3-1-7 | 入試実施回数(入試区分別) |
| | | | | | A4-3-1-8 | 入試募集人員(入試区分別) |
| | | | | | A4-3-1-9 | 入試志願者数(入試区分別) |
| | | | | | A4-3-1-10 | 入試受験者数(入試区分別) |
| | | | | | A4-3-1-11 | 入試合格者数(入試区分別) |
| | | | | | A4-3-1-12 | 入試入学者数(入試区分別) |
| | | | | | A4-3-1-13 | 入学者数(出身学校所在地都道府県別・男女別) |
| | | | | | A4-3-1-14 | 留学生学生数(区分・国籍・男女・分野別) |
| | | | | | A4-3-1-15 | 留学生専攻科・別科学生数(国籍・男女別) |
| | | | | | A4-3-1-16 | 留学生聴講生等数(国籍・男女別) |
| | | | | | A4-3-1-17 | 指標2-2 入学定員充足率 |
| | | | | | A4-3-1-18 | 指標2-2-1 受験者倍率 |
| 5 教育内容及び方法 | | | | | | |
| 学士課程 | | | | | | |
| 5-1 | 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名において適切であること。 | 1 | 教育の目的や授与される学位に照らして、授業科目が適切に配置され、(例えば、教養教育及び専門教育のバランス、必修科目、選択科目等の配当等が考えられる。)、教育課程が体系的に編成されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の開設状況(コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別) ・授業時間割 ・履修モデル、コースツリー等 | A5-1-1-1 | 学生便覧(該当箇所) |
| | | | | | A5-1-1-2 | 授業時間割 |
| | | | | | A5-1-1-3 | 履修モデル、コースツリー等 |
| | | | | | A5-1-2-1 | シラバス |
| | | | | | A5-1-2-2 | 教材、プリント等(例示) |
| | | | | | A5-1-2-3 | 授業時間割 |
| | | | | | A5-1-3-1 | シラバス |
| | | | | | A5-1-3-2 | 教材、プリント等(例示) |
| | | | | | A5-1-4-1 | 学生便覧(該当箇所) |
| | | | | | A5-1-4-2 | 学部規則、履修規則等 |
| | | | | | A5-1-4-3 | 他学部聴講実績 |
| | | | | | A5-1-4-4 | 単位互換協定書 |
| | | | | | A5-1-4-5 | 単位互換実績 |
| | | | | | A5-1-4-6 | インターシップに関する規定 |
| | | | | | A5-1-4-7 | インターシップ実績(受入企業・派遣数等がわかるもの) |
| | | | | | A5-1-4-8 | インターシップの単位認定実績 |
| A5-1-4-9 | 補習授業に関する規定 | | | | | |
| A5-1-4-10 | 補習授業の実施状況が把握できる資料(対象者、開設科目、時間割等) | | | | | |
| A5-1-4-11 | 編入学に関する規定 | | | | | |
| A5-1-4-12 | 編入学生の単位認定状況が把握できる資料 | | | | | |
| A5-1-4-13 | 修士(博士前期)課程教育との連携を示す資料 | | | | | |
| A5-1-4-14 | 指標16 学生数に対する科目等履修生比率 | | | | | |
| A5-1-4-15 | 指標17 学生数に対する聴講生比率 | | | | | |
| A5-1-4-16 | 指標18 海外派遣率 | | | | | |

| | | | | | | |
|-----|---------------------------------------|---|--|--|--|--|
| | | 5 | 単位の実質化への配慮がなされているか。 | ・授業時間外の学習のための工夫を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料 ・履修登録の上限設定を実施している場合には、その実施状況が把握できる資料 ・GPA(Grade Point Average)制度を導入している場合には、その実施状況が把握できる資料 | A5-1-5-1 A5-1-5-2 A5-1-5-3 A5-1-5-4 A5-1-5-5 A5-1-5-6 | 熊大年報 4(4)自習室等の利用状況 指標22 図書貸出状況 学部規則、履修規定等 学生便覧(該当箇所) 熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 GPA算定要領等 |
| | | 6 | 夜間において授業を実施している課程(夜間学部や昼夜開講制(夜間主コース))を有している場合には、その課程に在籍する学生に配慮した適切な時間割の設定等がなされているか。 | ・授業時間割 | A5-1-6-1 | 授業時間割 |
| 5-2 | 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。 | 1 | 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。(例えば、少人数授業、対話・討論型授業、フィールド型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、情報機器の活用、TAの活用等が考えられる。) | ・学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等、教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料 ・学習指導法の工夫が把握できる資料(シラバス、受講学生数(履修学生数、単位取得学生数)が把握できる資料、該当する事柄を記した冊子等の資料) | A5-2-1-1 A5-2-1-2 A5-2-1-3 A5-2-1-4 | 学生便覧 シラバス 熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 授業評価報告書 |
| | | 2 | 教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され、活用されているか。 | ・シラバス ・シラバス作成に関する規則 | A5-2-2-1 A5-2-2-2 | シラバス シラバス作成の申し合わせ等 |
| | | 3 | 自主学習への配慮、基礎学力不足の学生への配慮等が組織的に行われているか。 | ・図書館の利用時間の延長、講義室利用許可制、自習室の設置等、自主学習への配慮が把握できる資料 ・自主ゼミ等の活動促進のための施策 ・補習授業の開講、能力別講義の開講等、基礎学力不足の学生への配慮が把握できる資料 | A5-2-3-1 A5-2-3-2 A5-2-3-3 A5-2-3-4 | 熊大年報 4(4)自習室等の利用状況 自主ゼミ等の活動促進のための施策が把握できる資料 補習授業に関する規定 補習授業の実施状況が把握できる資料(対象者、開設科目、時間割等) |
| 5-3 | 成績評価や単位認定、卒業認定が適切であり、有効なものとなっていること。 | 1 | 教育の目的に応じた成績評価基準や卒業認定基準が組織として策定され、学生に周知されているか。 | ・成績評価基準、卒業認定基準 ・成績評価基準及び卒業認定基準が学生に周知されていることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーション時の配付資料等の該当箇所 | A5-3-1-1 A5-3-1-2 A5-3-1-3 A5-3-1-4 | 卒業認定基準 学生便覧 シラバス オリエンテーション時の配付資料等 |
| | | 2 | 成績評価基準や卒業認定基準に従って、成績評価、単位認定、卒業認定が適切に実施されているか。 | ・実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所 ・卒業認定基準と卒業認定をした学生の成績、卒業論文等 ・単位を認定した学生の試験答案 ・成績評価の分布表 | A5-3-2-1 A5-3-2-2 A5-3-2-3 A5-3-2-4 A5-3-2-5 A5-3-2-6 A5-3-2-7 | シラバス 卒業認定基準 卒業判定会議資料 成績一覧表 卒業論文・制作・研究等 試験答案(例示) 成績評価の分布表(P) |
| | | 3 | 成績評価等の正確さを担保するための措置が講じられているか。 | ・成績評価等の正確さを担保するための措置が明示されている資料 ・学生からの成績評価に関する申立の仕組みがある場合には、その手続きが明示されている資料 | A5-3-3-1 A5-3-3-2 | 学生からの成績評価に関する申立の手続きが明示されている資料 成績評価の異議申立書 |

| 大学院課程 | | | | | | | | |
|----------|---|----------|--|---|---|---|----------|---------------------|
| 5-4 | 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名において適切であること。 | 1 | 教育の目的や授与される学位に照らして、教育課程が体系的に編成されており、目的とする学問分野や職業分野における期待にこたえるものになっているか。 | ・授業科目の開設状況(コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別) | A5-4-1-1 | 学生便覧(該当箇所) | | |
| | | | | ・授業時間割 | A5-4-1-2 | 授業時間割 | | |
| | | | | ・履修モデル、コースツリー等 | A5-4-1-3 | 履修モデル、コースツリー等 | | |
| | | | | 2 | 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿ったものになっているか。 | ・授業科目案内、履修要項、シラバス等授業内容が把握できる資料等の該当箇所 | A5-4-2-1 | シラバス |
| | | | | | | ・教材、授業で使用したプリント等 | A5-4-2-2 | 教材、プリント等(例示) |
| | | ・授業時間割 | A5-4-2-3 | | | 授業時間割 | | |
| | | 3 | 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究の成果を反映したものとなっているか。 | ・研究の成果を反映していることが把握できる資料(授業内容を示したシラバス、教材、授業で使用したプリント等) | A5-4-3-1 | シラバス | | |
| | | | | | A5-4-3-2 | 教材、プリント等(例示) | | |
| | | 4 | 単位の実質化への配慮がなされているか。 | ・授業時間外の学習のための工夫等、単位の実質化への配慮が把握できる資料 | A5-4-4-1 | 熊大年報 4(4)自習室等の利用状況 | | |
| | | | | | A5-4-4-2 | 指標22 図書貸出状況 | | |
| | | | | | A5-4-4-3 | 大学院規則、履修規定等 | | |
| | | | | | A5-4-4-4 | 学生便覧(該当箇所) | | |
| | | | | | A5-4-4-5 | 熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 | | |
| | | | | | A5-4-4-6 | GPA算定要領等 | | |
| | | 5 | 夜間において授業を実施している課程(夜間学部や昼夜開講制(夜間主コース))を有している場合には、その課程に在籍する学生に配慮した適切な時間割の設定等がなされているか。 | ・授業時間割 | A5-4-5-1 | 授業時間割 | | |
| 5-5 | 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。 | 1 | 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ、バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。(例えば、少人数授業、対話・討論型授業、フィールド型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、情報機器の活用等が考えられる。) | ・学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等、教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料 | A5-5-1-1 | 学生便覧 | | |
| | | | | ・学習指導法の工夫が把握できる資料(シラバス、受講学生数(履修学生数、単位取得学生数)が把握できる資料、該当する事柄を記した冊子等の資料) | A5-5-1-2 | シラバス | | |
| | | | | ・熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 | A5-5-1-3 | 熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 | | |
| | | | | ・授業評価報告書 | A5-5-1-4 | 授業評価報告書 | | |
| | | 2 | 教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され、活用されているか。 | ・シラバス ・シラバス作成に関する規則 | A5-5-2-1 | シラバス | | |
| A5-5-2-2 | シラバス作成の申し合わせ等 | | | | | | | |
| 5-6 | 研究指導が大学院教育の目的に照らして適切に行われていること。 | 1 | 教育課程の趣旨に沿った研究指導が行われているか。 | ・研究指導体制が把握できる資料 | A5-6-1-1 | 学生便覧等研究指導体制が把握できる資料 | | |
| | | | | 2 | 研究指導に対する適切な取組(例えば、複数教員による指導体制、研究テーマ決定に対する適切な指導、TA・RA(リサーチ・アシスタント)としての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練等が考えられる。)が行われているか。 | ・複数教員による指導を行っている場合には、その指導体制が把握できる資料 | A5-6-2-1 | 研究指導体制や指導状況が把握できる資料 |
| | | | | | | ・研究テーマ決定に対する指導を行っている場合には、その指導状況が把握できる資料 | A5-6-2-2 | 研究指導教員数(職名別・男女別) |
| | | 3 | 学位論文に係る指導体制が整備され、機能しているか。 | ・学位論文に係る指導体制が把握できる資料(規則、申し合わせ等) | A5-6-2-3 | 研究指導補助教員数(職名別・男女別) | | |
| | | | | | A5-6-2-4 | 指標19 TA採用状況(大学院) | | |
| | | A5-6-2-5 | 指標21 RA採用状況 | | | | | |
| 5-7 | 成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっていること。 | 1 | 教育の目的に応じた成績評価基準や修了認定基準が組織として策定され、学生に周知されているか。 | ・成績評価基準、修了認定基準 | A5-7-1-1 | 成績評価基準 | | |
| | | | | ・成績評価基準及び修了認定基準が学生に周知されていることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーション時の配付資料等の該当資料 | A5-7-1-2 | 修了認定基準 | | |
| | | | | A5-7-1-3 | 学生便覧 | | | |
| | | | | A5-7-1-4 | シラバス | | | |
| | | | | A5-7-1-5 | オリエンテーション時の配付資料等 | | | |

| | | | | |
|---|---|--|----------|-------------------------------|
| 2 | 成績評価基準や卒業認定基準に従って、成績評価、単位認定、修了認定が適切に実施されているか。 | ・実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所 ・修了認定基準と修了認定をした学生の成績、学位論文等 ・単位を認定した学生の試験答案 ・成績評価の分布表 | A5-7-2-1 | シラバス |
| | | | A5-7-2-2 | 修了認定基準 |
| | | | A5-7-2-3 | 修了判定会議資料 |
| | | | A5-7-2-4 | 成績一覧表 |
| | | | A5-7-2-5 | 学位論文 |
| | | | A5-7-2-6 | 試験答案(例示) |
| | | | A5-7-2-7 | 成績評価の分布表(P) |
| 3 | 学位論文に係る適切な審査体制が整備され、機能しているか。 | ・学位論文の審査体制、審査員の選考方法 ・学位論文の審査基準、規則、申し合わせ等 | A5-7-3-1 | 学位論文の審査体制が把握できる規定等 |
| | | | A5-7-3-2 | 審査員の選考基準 |
| | | | A5-7-3-3 | 審査基準 |
| 4 | 成績評価等の正確さを担保するための措置が講じられているか。 | ・成績評価等の正確さを担保するための措置が明示されている資料 ・学生からの成績評価に関する申立の仕組みがある場合には、その手続きが明示されている資料 | A5-7-4-1 | 学生からの成績評価に関する申立の手続きが明示されている資料 |
| | | | A5-7-4-2 | 成績評価の異議申立書 |

専門職大学院課程

| | | | | | | |
|------|---|------------------------|--|--|-----------|---|
| 5-8 | 教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名において適切であること。 | 1 | 教育の目的や授与される学位に照らして、教育課程が体系的に編成されているか。 | ・授業科目の開設状況(配置、年次配当、必修・選択等の別) ・授業時間割 ・履修モデル、コースツリー等 | A5-8-1-1 | 学生便覧(該当箇所) |
| | | | | | A5-8-1-2 | 授業時間割 |
| | | | | | A5-8-1-3 | 履修モデル、コースツリー等 |
| | | 2 | 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿ったものになっているか。 | ・授業科目案内、履修要項、シラバス等授業内容が把握できる資料等の該当箇所 ・教材、授業で使用したプリント等 ・授業時間割 | A5-8-2-1 | シラバス |
| | | | | | A5-8-2-2 | 教材、プリント等(例示) |
| | | | | | A5-8-2-3 | 授業時間割 |
| | | 3 | 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究の成果を反映したものとなっているか。 | ・研究の成果を反映していることが把握できる資料(授業内容を示したシラバス、教材、授業で使用したプリント等) | A5-8-3-1 | シラバス |
| | | | | | A5-8-3-2 | 教材、プリント等(例示) |
| | | 4 | 単位の実質化への配慮がなされているか。 | ・授業時間外の学習のための工夫等、単位の実質化への配慮が把握できる資料 | A5-8-4-1 | 熊大年報 4(4)自習室等の利用状況 |
| | | | | | A5-8-4-2 | 指標22 図書貸出状況 |
| | | | | | A5-8-4-3 | 大学院規則、履修規定等 |
| | | | | | A5-8-4-4 | 学生便覧(該当箇所) |
| | | | | | A5-8-4-5 | 熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 |
| | | A5-8-4-6 | GPA算定要領等 | | | |
| | | 5 | 夜間において授業を実施している課程(夜間大学院や教育方法の特例)を有している場合には、その課程に在籍する学生に配慮した適切な時間割の設定等がなされているか。 | ・授業時間割 | A5-8-5-1 | 授業時間割 |
| 5-9 | 教育課程が当該職業分野における期待にこたえるものとなっていること。 | 1 | 教育課程や教育内容の水準が、当該職業分野の期待にこたえるものになっているか。 | ・カリキュラム、シラバス等、教育課程や教育内容の水準と当該職業分野の関連が把握できる資料 | A5-9-1-1 | カリキュラム、シラバス等、教育課程や教育内容の水準と当該職業分野の関連が把握できる資料 |
| 5-10 | 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。 | 1 | 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。(例えば、少人数授業、対話・討論型授業、フィールド型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、情報機器の活用等が考えられる。) | ・学生便覧、シラバス、授業科目案内、履修要項等、教育課程の中での授業形態の組合せ・バランスが把握できる資料 ・学習指導法の工夫が把握できる資料(シラバス、受講学生数(履修学生数、単位取得学生数)が把握できる資料、該当する事項を示した冊子等の資料) | A5-10-1-1 | 学生便覧 |
| | | | | | A5-10-1-2 | シラバス |
| | | A5-10-1-3 | 熊大年報 7(2)1開設授業科目別履修者、単位取得状況 | | | |
| | | A5-10-1-4 | 授業評価報告書 | | | |
| 2 | 教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され、活用されているか。 | ・シラバス ・シラバス作成に関する規則 | A5-10-2-1 | シラバス | | |
| | | | A5-10-2-2 | シラバス作成の申し合わせ等 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|---|---|----------|---|--|--|---|------------------|
| 6 教育の成果 | 5-11 | 成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっていること。 | 1 | 教育の目的に応じた成績評価基準や修了認定基準が組織として策定され、学生に周知されているか。 | ・成績評価基準、修了認定基準 ・成績評価基準及び修了認定基準が学生に周知されていることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーション時の配付資料等の該当資料 | A5-11-1-1 | 成績評価基準 | |
| | | | | | | | A5-11-1-2 | 修了認定基準 |
| | | | | | | | A5-11-1-3 | 学生便覧 |
| | | | | | | | A5-11-1-4 | シラバス |
| | | | | | | | A5-11-1-5 | オリエンテーション時の配付資料等 |
| | | | 2 | 成績評価基準や修了認定基準に従って、成績評価、単位認定、修了認定が適切に実施されているか。 | ・実際の成績評価・単位認定方法が明示された資料の該当箇所 ・修了認定基準と修了認定をした学生の成績、学位論文等 ・単位を認定した学生の試験答案 ・成績評価の分布表 | A5-11-2-1 | シラバス | |
| | | | | | | | A5-11-2-2 | 修了認定基準 |
| | | | | | | | A5-11-2-3 | 修了判定会議資料 |
| | | | | | | | A5-11-2-4 | 成績一覧表 |
| | | | | | | | A5-11-2-5 | 学位論文 |
| | | | | | | | A5-11-2-6 | 試験答案(例示) |
| | | | | | | | A5-11-2-7 | 成績評価の分布表(P) |
| | | | 3 | 成績評価等の正確さを担保するための措置が講じられているか。 | ・成績評価等の正確さを担保するための措置が明示されている資料 ・学生からの成績評価に関する申立の仕組みがある場合には、その手続きが明示されている資料 | A5-11-3-1 | 学生からの成績評価に関する申立の手続きが明示されている資料 | |
| | | | | | | | A5-11-3-2 | 成績評価の異議申立書 |
| | | | 6-1 | 教育の目的において意図している、学生が身に付ける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果が上がっていること。 | 1 | 学部等として、その目的に沿った形で、教養教育、専門教育等において、課程に応じて、学生が身に付ける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等についての方針が明らかにされており、その達成状況を検証・評価するための適切な取組が行われているか。 | ・方針が明示されている概要やウェブサイト等の該当箇所 ・達成状況を検証・評価するための委員会等の組織体制、活動状況が把握できる規則、議事録等 | A6-1-1-1 |
| | | | | A6-1-1-2 | 学部等ウェブページ(該当箇所) | | | |
| | | | | A6-1-1-3 | 教務委員会等の規定 | | | |
| | | | | A6-1-1-4 | 教務委員会等の議事録等 | | | |
| 2 | 各学年や卒業(修了)時等において学生が身に付ける学力や資質・能力について、単位取得、進級、卒業(修了)の状況、資格取得の状況等から、あるいは卒業(学位)論文等の内容、水準から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。 | ・単位取得率、学位取得率、進級率、卒業率、成績評価の分布表、資格取得者数、各種コンペティション等の受賞数、卒業(修士・博士)論文、留年・休学・退学状況 | A6-1-2-1 | 単位取得率 | | | | |
| | | | | A6-1-2-2 | 学位取得率 | | | |
| | | | | A6-1-2-3 | 進級率 | | | |
| | | | | A6-1-2-4 | 卒業率 | | | |
| | | | | A6-1-2-5 | 成績評価の分布表(P) | | | |
| | | | | A6-1-2-6 | 指標30 受験者数に対する資格取得率 | | | |
| | | | | A6-1-2-7 | 指標31 学生数に対する資格取得率 | | | |
| | | | | A6-1-2-8 | 各種コンペティション等の受賞数 | | | |
| | | | | A6-1-2-9 | 指標24 留年率 | | | |
| | | | | A6-1-2-10 | 指標25 退学・除籍率 | | | |
| | | | | A6-1-2-11 | 熊大年報 7(3)13-14休学・復学者数 | | | |
| 3 | 授業評価等、学生からの意見聴取の結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。 | ・学生に意見を聴取する機会(懇談会、アンケート、インタビュー等)の概要及びその結果が把握できる資料(学生による授業評価、学習達成度に関するアンケート調査資料、学生の満足度に関する調査結果等) | A6-1-3-1 | 「授業改善のための学生アンケート」調査実施報告書 | | | | |
| | | | | A6-1-3-2 | アンケート分析結果報告書 | | | |

| | | | | | | |
|---------|-----|---|--|---|--|--|
| | | 4 | 教育の目的で意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった卒業(修了)後の進路の状況等の実績や成果について定量的な面も含めて判断して、教育の成果や効果が上がっているか。 | ・就職率、進学率、就職先、進学先 ・研究活動の実績や成果を判断できる論文の投稿状況等 | A6-1-4-1 A6-1-4-2 A6-1-4-3 A6-1-4-4 A6-1-4-5 A6-1-4-6 A6-1-4-7 A6-1-4-8 A6-1-4-9 A6-1-4-10 A6-1-4-11 A6-1-4-12 A6-1-4-13 | 指標26 卒業・修了率 指標27 標準修了年限卒業率 指標28 標準修了年限+2年での卒業率 指標29 学位取得率 就職者数(職業区分別・男女別) 就職者数(産業区分別・男女別) 指標32 産業別就職率 指標33 職業別就職率 指標34 就職率 進学者(進路別) 指標35 進学率 04-04 修士論文・博士論文等題目一覧 研究活動の実績や成果を判断できる論文の投稿状況等 |
| | | 5 | 卒業(修了)生や、就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。 | ・卒業(修了)生に意見を聴取する機会(懇談会、アンケート、インタビュー等)の概要及びその結果が把握できる資料 ・進路先や就職先等の関係者に意見を聴取する機会(懇談会、アンケート、インタビュー等)の概要及びその結果が把握できる資料 | A6-1-5-1 | 卒業生、修了生、就職先へのアンケート調査 |
| 7 学生支援等 | 7-1 | 1 | 学習を進める上での履修指導が適切に行われているか、また、学生相談・助言体制等の学習支援が適切に行われていること。 | ・ガイダンスの実施及び内容を把握できる資料(担当者、対象者別実施回数、配付資料等) | A7-1-1-1 | ガイダンスの実施及び内容を把握できる資料(担当者、対象者別実施回数、配付資料等) |
| | | 2 | 学習相談、助言(例えば、オフィスアワーの設定、電子メールの活用、担任制等が考えられる。)が適切に行われているか。 | ・オフィスアワーの実施状況 ・電子メールによる相談・助言体制 ・学習相談、助言のための担任制等の実施状況 ・学習相談、助言体制の学生への周知状況(刊行物、プリント) ・学習相談、助言体制の利用実績 | A7-1-2-1 A7-1-2-2 A7-1-2-3 A7-1-2-4 A7-1-2-5 | オフィスアワーの実施状況 電子メールによる相談・助言体制 学習相談、助言のための担任制等の実施状況 学習相談、助言体制の学生への周知状況(刊行物、プリント) 学習相談、助言体制の利用実績 |
| | | 3 | 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されているか。 | ・学生の意見をくみ上げる制度が把握できる資料 | A7-1-3-1 | 学生の意見をくみ上げる制度が把握できる資料 |
| | | 4 | 通信教育を行う課程をとおしている場合には、そのための学習支援、教育相談が適切に行われているか。 | ・電話・電子メールによる教育相談、助言体制(それを周知する資料)、ウェブサイトによる情報提供等の実施体制及び実施状況を把握できる資料 | A7-1-4-1 | 電話・電子メールによる教育相談、助言体制(それを周知する資料)、ウェブサイトによる情報提供等の実施体制及び実施状況を把握できる資料 |
| | | 5 | 特別な支援を行うことが必要と考えられる者(例えば、留学生、社会人学生、障害のある学生等が考えられる。)への学習支援を適切に行うことのできる状況にあるか。また、必要に応じて学習支援が行われているか。 | ・留学生指導教員やチューターの配置状況等 ・特別クラス、補習授業の開設・実施状況(時間割、シラバス等) ・障害のある学生に対する支援体制(ノートテーカー等)の配備状況 ・社会人学生に対する情報提供(電子メール、ウェブサイト等) ・社会人学生に対する学習相談の制度が把握できる資料 | A7-1-5-1 A7-1-5-2 A7-1-5-3 A7-1-5-4 A7-1-5-5 | 留学生指導教員やチューターの配置状況等 特別クラス、補習授業の開設・実施状況(時間割、シラバス等) 障害のある学生に対する支援体制(ノートテーカー等)の配備状況 社会人学生に対する情報提供(電子メール、ウェブサイト等) 社会人学生に対する学習相談の制度が把握できる資料 |
| | 7-2 | 1 | 自主的学習環境(例えば、自習室、グループ討論室、情報機器室等が考えられる。)が十分に整備され、効果的に利用されているか。 | ・各施設・設備の整備状況(部屋数、机、パソコン等の台数等)、利用計画、利用状況、利用内規、学生に対する利用案内及びその配布状況等 | A7-2-1-1 A7-2-1-2 A7-2-1-3 A7-2-1-4 | 施設・設備の整備状況(部屋数、机、パソコン等の台数等) 熊大年報 4(4)自習室等の利用状況 指標22 図書貸出状況 学生案内等施設・設備の利用案内 |

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|------------------|---|---|------------------------------|--|--|--|---|----------|-----------------------------|
| | | 2 | 学生のサークル活動や自治活動等の課外活動が円滑に行われるよう支援が適切に行われているか。 | ・課外活動の活動内容一覧表 ・運営金の交付状況 ・活動の実績を示す資料 ・施設の整備状況(サークル棟等) | A7-2-2-1 | 学部等における学生の課外活動への支援が把握できる資料 | | | | | |
| | 7-3 | 1 | 学生の健康相談、生活相談、進路相談、各種ハラスメントの相談等のために、必要な相談・助言体制が整備され、機能しているか。 | ・学生の健康相談、生活相談、進路相談、各種ハラスメント等の相談取扱要項や実施体制等 | A7-3-1-1 | 学生相談の状況が把握できる資料 | | | | | |
| 2 | | | | | 生活支援等に関する学生のニーズが適切に把握されているか。 | 学生の意見を汲み上げる制度が把握できる資料 | A7-3-2-1 | 学生生活実態調査報告書の分析 | | | |
| | | | | | | | A7-3-2-2 | 学生の意見を汲み上げる制度が把握できる資料 | | | |
| | | | | | | | 3 | 特別な支援を行うことが必要と考えられる者(例えば、留学生、社会人学生、障害のある学生等が考えられる。)への生活支援を適切に行うことのできる状況にあるか。また、必要に応じて生活支援が行われているか。 | ・留学生指導教員やチューターの配置状況等 ・留学生に対する施設・設備の整備状況 ・留学生に対する生活支援の状況 ・障害のある学生に対する施設・設備の整備状況 ・障害のある学生に対するチューターの配置状況 | A7-3-3-1 | 留学生指導教員及びチューターの配置状況が把握できる資料 |
| | | | | | | | | | | A7-3-3-2 | 留学生に対する生活支援の状況が把握できる資料 |
| 4 | 学生の経済面の援助(例えば、奨学金(給付、貸与)、授業料免除等が考えられる。)が適切に行われているか。 | ・授業料免除制度の基準と実施状況 | A7-3-4-1 | 05-01 入学科・授業料 | | | | | | | |
| | | | A7-3-4-2 | 05-02 奨学金採用 | | | | | | | |
| 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム | 8-1 | 1 | 教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能していること。 | ・教育活動の実態を示す資料・データや資料を適切に収集し、蓄積しているか。 | A8-1-1-1 | 教育活動の実態を示す資料・データ等の収集体制が把握できる資料 | | | | | |
| | | | | | A8-1-1-2 | 教育活動の実態を示す資料・データ等の蓄積状況が把握できる資料 | | | | | |
| | | | | | A8-1-1-3 | 自己点検・評価報告書の該当箇所 | | | | | |
| | | | | | 2 | 学生の意見の聴取(例えば、授業評価、満足度評価、学習環境評価等が考えられる。)が行われており、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されているか。 | ・学生による授業評価報告書等 ・学生からの意見聴取状況 ・学生の意見が自己点検・評価報告書、外部評価報告書等に反映されている該当箇所 | A8-1-2-1 | 「授業改善のための学生アンケート」調査 | | |
| | | | | | | | | A8-1-2-2 | 学生の意見が自己点検・評価報告書、外部評価報告書等に反映されている該当箇所 | | |
| | | | | | 3 | 学外関係者(例えば、卒業(修了)生、就職先等の関係者が考えられる。)の意見が、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されているか。 | ・学外関係者(卒業(修了)生、通学先、就職先等)からの意見聴取状況 ・学外関係者の意見が自己点検・評価報告書、外部評価報告書等に反映されている該当箇所 | A8-1-3-1 | 卒業生、修了生、就職先へのアンケート調査 | | |
| | | | | | | | | A8-1-3-2 | 学外関係者の意見が自己点検・評価報告書、外部評価報告書等に反映されている該当箇所 | | |
| | | | | | 4 | 評価結果がフィードバックされ、教育の質の向上、改善のための取組が行われ、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。 | ・評価結果のフィードバック状況を確認できる資料 ・各種委員会等の体制及び活動状況が把握できる資料(組織相互関連図、関連諸規則、議事録(活動記録)等) ・評価結果を改善策に結びつける制度を把握できる資料、活動実績等 | A8-1-4-1 | 評価結果のフィードバック状況を確認できる資料 | | |
| | | | | | | | | A8-1-4-2 | 各種委員会等の体制及び活動状況が把握できる資料(組織相互関連図、関連諸規則、議事録(活動記録)等) | | |
| | | | | | | | | A8-1-4-3 | 評価結果を改善策に結びつける制度を把握できる資料、活動実績等 | | |

| | | | | | | |
|-----|---|---|---|--|----------|---|
| | | 5 | 個々の教員は、評価結果に基づいて、それぞれの質の向上を図るとともに、授業内容、教材、教授技術等の継続的改善を行っているか。 | ・評価結果の教員へのフィードバック状況等、改善のための評価活動が機能していることを把握できる資料 ・具体的改善方策の内容等(カリキュラムや授業方法改善例等) | A8-1-5-1 | 評価結果の教員へのフィードバック状況等、改善のための評価活動が機能していることを把握できる資料 |
| | | | | | A8-1-5-2 | 「授業改善のための学生アンケート」調査結果を活用した改善例 |
| 8-2 | 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。 | 1 | ファカルティ・ディベロップメントについて、学生や教職員のニーズが反映されており、組織として適切な方法で実施されているか。 | ・学生や教職員のニーズを汲み上げる制度が把握できる資料 ・ファカルティ・ディベロップメント(教育方法等の研究・研修、教員相互の授業見学等)の内容・方法及び実施状況 ・ファカルティ・ディベロップメントへの教員の参加状況 | A8-2-1-1 | FDの実施状況が把握できる資料(実施要項、スケジュール、参加者数、配付資料 等) |
| | | 2 | ファカルティ・ディベロップメントが、教育の質の向上や授業の改善に結びついているか。 | ・授業評価報告書の該当箇所等、教育の質の向上や授業の改善が把握できる資料 ・具体的改善方策の内容(カリキュラムや授業方法改善例等) | A8-2-2-1 | 授業評価報告書の該当箇所等、教育の質の向上や授業の改善が把握できる資料 |
| | | | | | A8-2-2-2 | 具体的改善方策の内容(カリキュラムや授業方法改善例等) |
| | | 3 | 教育支援者や教育補助者に対し、教育活動の質の向上を図るための研修等、その資質の向上を図るための取組が適切になされているか。 | ・教育支援者や教育補助者に対する研修等の内容・方法及び実施状況が把握できる資料 | A8-2-3-1 | 教育支援者や教育補助者に対する研修等の内容・方法及び実施状況が把握できる資料 |

B 研究

| 評価基準 | 評価項目 | 評価の観点 | 必要と考えられる資料・データ | 整理番号 | 資料・データ例 | | | | |
|--------------------------------|--|--|--|--|-------------------------------------|---|---|------------------------------|----------|
| 1 研究の目的 | 1-1 学部等の研究の目的(研究活動を行うに当たっての基本的な方針、達成しようとしている基本的な成果等)が明確に定められていること。 | 1 目的として、研究活動を行うに当たっての基本的な方針や、達成しようとする基本的な成果等が、明確に定められているか。 | ・学則等の該当箇所 | B1-1-1-1 | 学部等概要(該当箇所) | | | | |
| | | | | 1-2 目的が、学部等の構成員に周知されているとともに、社会に公表されていること。 | 1 目的が、学部等の構成員(教職員及び学生)に周知されているか。 | ・学生便覧、履修要項等、学生が参照する冊子の該当箇所 ・学部等の目的が明記された教職員用の冊子の該当箇所 ・教職員の会議等で周知のための取組がなされている場合には、その議事録等 ・授業や新入生ガイダンス等で周知のための取組がなされている場合には、その記録や資料等 ・教職員研修等で周知のための取組がなされている場合には、その記録や資料等 ・教職員及び学生に対する学部等の目的の認知度に関するアンケート等が行われている場合には、その結果当周知の程度や効果を示すデータ | B1-2-1-1 | 学生への周知を示す資料(履修要項、ガイダンス配付資料等) | |
| | B1-2-1-2 | 教職員への周知を示す資料(教職員への配付資料、研修や会議における配付資料等) | | | | | | | |
| | B1-2-1-3 | 教職員及び学生の認知度を示す資料 | | | | | | | |
| | 2 目的が、社会に広く公表されているか。 | B1-2-2-1 | 学部等概要(該当箇所) | | | | | | |
| | | B1-2-2-2 | 学部等ウェブページ(該当箇所) | | | | | | |
| | | B1-2-2-3 | 公表の程度や効果を示すデータ(冊子等の配布先、配布数、ウェブサイトの利用状況等) | | | | | | |
| | 2 研究の実施体制 | 2-1 学部等の研究目的に照らして、研究活動を実施するために必要な体制が適切に整備され、機能していること。 | 1 研究の実施体制及び支援・推進体制が適切に整備され、機能しているか。 | | | | ・教員、研究員(ポストドクターを含む。)等の配置や、研究組織の構成の状況 ・研究支援組織(事務組織や技術職員組織等)の整備・機能状況 ・研究推進(研究面での社会連携の推進なども含む。)のための施策の企画・立案等を行う組織(研究推進委員会、研究推進室、産学連携推進室等)の整備・機能状況 ・研究設備等の整備・機能状況 ・研究成果の発信や刊行のための組織の整備・機能状況 | B2-1-1-1 | 職員数(職種別) |
| | | | | | | | | B2-1-1-2 | 研究員(区分別) |
| | | | | B2-1-1-3 | 指標61 本務教員あたりの職員数 | | | | |
| B2-1-1-4 | | | | 指標62 本務教員あたりの研究員数 | | | | | |
| B2-1-1-5 | | | | 研究推進に関する委員会等の規定 | | | | | |
| B2-1-1-6 | | | | 研究推進に関する委員会等の議事録等 | | | | | |
| B2-1-1-7 | | | | 研究設備等の整備・機能状況が把握できる資料 | | | | | |
| B2-1-1-8 | | | | 研究成果の発信や刊行のための組織の整備・機能状況 | | | | | |
| 2 研究活動に関する施策が適切に定められ、実施されているか。 | | | B2-1-2-1 | 外部研究資金の獲得や大学内部での研究資金の配分に関する施策の実施状況 | | | | | |
| | | | B2-1-2-2 | 研究者の育成や研究時間の確保に関する施策の状況 | | | | | |
| | | | B2-1-2-3 | 大学の目的に即した研究推進に関する施策(重点研究分野の設定、学際研究プロジェクトの促進、萌芽的研究の支援など)の実施状況 | | | | | |
| | | | B2-1-2-4 | 国内外の共同研究推進支援に関する施策の実施状況 | | | | | |
| | | | B2-1-2-5 | 研究成果の公表・発信、知識・技術の移転に関する施策の実施状況 | | | | | |
| | | | B2-1-2-6 | 利益相反、生命倫理、環境・安全等の規程 | | | | | |
| | | | 3 研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するための取組が行われているか。 | B2-1-3-1 | 各種委員会等の体制及び活動状況(組織等相互関連図、関係諸規定、記録等) | | | | |
| B2-1-3-2 | 外部評価、自己点検・評価等の実施状況 | | | | | | | | |
| B2-1-3-3 | 外部評価報告書又は自己点検・評価報告書の該当部分 | | | | | | | | |
| B2-1-3-4 | 具体的改善方策の内容等 | | | | | | | | |
| 3 研究の成果 | 3-1 学部等の研究目的に照らして、研究活動が活発に行われており、研究の成果が上 | 1 学部等の研究目的に照らして、研究活動が活発に行われており、研究の | (1)研究の実施状況 論文・著書等の研究業績や | B3-1-1-1 | 産業財産権の保有件数 | | | | |

がっていること。

成果があがっていること。

学会での研究発表の状況、研究成果による知的財産権の出願・取得状況、共同研究の実施状況、受託研究の実施状況
(2)研究資金の獲得状況
科学研究費補助金受入状況、競争的外部資金受入状況、共同研究受入状況、受託研究受入状況、寄附金受入状況、寄附講座受入状況

| | |
|-----------|------------------------------------|
| B3-1-1-2 | 特許出願数 |
| B3-1-1-3 | 特許取得数 |
| B3-1-1-4 | 特許ライセンス契約件数 |
| B3-1-1-5 | 特許ライセンス契約収入 |
| B3-1-1-6 | 指標36 本務教員あたり特許出願数 |
| B3-1-1-7 | 指標37 本務教員あたり特許取得数 |
| B3-1-1-8 | 指標38 本務教員あたりライセンス契約数 |
| B3-1-1-9 | 指標39 本務教員あたりライセンス収入額 |
| B3-1-1-10 | 指標40 保有件数に対するライセンス契約数 |
| B3-1-1-11 | 共同研究受入件数(相手先区分別) |
| B3-1-1-12 | 共同研究受入金額(相手先区分別) |
| B3-1-1-13 | 共同研究員受入人数(相手先区分別) |
| B3-1-1-14 | 指標41 本務教員あたりの共同研究受入件数 |
| B3-1-1-15 | 指標42 本務教員あたりの共同研究受入件数(国内・外国企業からのみ) |
| B3-1-1-16 | 指標43 本務教員当たりの共同研究受入金額 |
| B3-1-1-17 | 指標44 本務教員当たりの共同研究受入金額(国内・外国企業からのみ) |
| B3-1-1-18 | 指標45 外部資金総収入の内、共同研究費が占める割合 |
| B3-1-1-19 | 指標46 本務教員当たりの共同研究員数 |
| B3-1-1-20 | 受託受入件数(相手先区分別・受入状況別) |
| B3-1-1-21 | 受託研究員受入人数(相手先区分別) |
| B3-1-1-22 | 受託受入金額(相手先区分別・受入状況別) |
| B3-1-1-23 | 受託研究員受入金額(相手先区分別) |
| B3-1-1-24 | 指標47 本務教員当たりの受託研究受入件数 |
| B3-1-1-25 | 指標48 本務教員当たりの受託研究受入件数(国内・外国企業からのみ) |
| B3-1-1-26 | 指標49 本務教員当たりの受託研究受入金額 |
| B3-1-1-27 | 指標50 本務教員当たりの受託研究受入金額(国内・外国企業からのみ) |
| B3-1-1-28 | 指標51 外部資金総収入の内、受託研究費が占める割合 |
| B3-1-1-29 | 指標52 本務教員当たりの受託研究員受入人数 |
| B3-1-1-30 | 科研費新規申請件数(種目別・新規) |
| B3-1-1-31 | 科研費新規内定件数(種目別) |
| B3-1-1-32 | 科研費総内定件数(種目別、新規+継続) |
| B3-1-1-33 | 科研費総内定金額(種目別) |
| B3-1-1-34 | 科研費総間接経費内定金額(種目別) |
| B3-1-1-35 | 指標53 本務教員当たりの科研費申請件数(新規) |
| B3-1-1-36 | 指標54 本務教員当たりの科研費採択(内定)件数 |
| B3-1-1-37 | 指標55 本務教員当たりの科研費内定金額 |
| B3-1-1-38 | 指標56 科研費採択(内定)率(新規) |
| B3-1-1-39 | 競争的資金採択件数(資金種別) |
| B3-1-1-40 | 競争的資金受入金額(資金種別) |
| B3-1-1-41 | 競争的資金間接経費受入金額(資金種別) |
| B3-1-1-42 | 指標57 本務教員当たりの競争的資金採択件数 |
| B3-1-1-43 | 指標58 本務教員当たりの競争的資金受入金額 |
| B3-1-1-44 | 寄附金受入件数 |
| B3-1-1-45 | 寄附金受入金額 |

| | | | | | | |
|--|--|---|--|-----------------------------------|-----------|--------------------------------|
| | | | | | B3-1-1-46 | 指標59 本務教員当たりの寄附受入件数 |
| | | | | | B3-1-1-47 | 指標60 本務教員当たりの寄附受入金額 |
| | | | | | B3-1-1-48 | 寄附講座設置数 |
| | | | | | B3-1-1-49 | 寄附講座受入金額 |
| | | 2 | 研究成果の状況について、学術面、社会、経済、文化面の視点から選定した「学部・研究科等を代表する優れた研究業績(研究業績説明書)」を資料として、学部等の研究目的に照らして、関係者の期待に応える成果が上がっているか。 | 「学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト及び研究業績説明書」 | B3-1-2-1 | 学部・研究科等を代表する優れた研究業績リスト(作成要領参照) |
| | | | | | B3-1-2-2 | 研究業績説明書(作成要領参照) |

C 管理運営

| 評価基準 | 評価項目 | 評価の観点 | 必要と考えられる資料・データ | 整理番号 | 資料・データ例 |
|--|---|--|---|-------------------------------|--|
| 1 管理運営の実施体制 | 1-1 学部等の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。 | 1 管理運営のための組織及び事務組織が、学部等の目的の達成に向けて支援するという任務を果たす上で、適切な規模と機能を持っているか。また、必要な職員が配置されているか。 | ・管理運営のための組織及び事務組織の組織図等、人員の配置状況を把握できる資料 ・管理運営のための組織及び事務組織の業務分掌が把握できる資料 ・管理運営のための組織及び事務組織と教学に係る各種委員会等との連携体制 | C1-1-1-1 | 組織図(管理運営組織、事務組織及び人員配置状況を確認できるもの) |
| | | | | C1-1-1-2 | 学則(業務分掌に係る該当箇所) |
| | | | | C1-1-1-3 | その他規則(業務分掌に係る該当箇所) |
| | | | | C1-1-1-4 | 体制図(管理運営組織及び事務組織と教学に係る各種委員会等との連携がわかるもの) |
| | | 2 学部等の目的を達成するために、学部長等のリーダーシップの下で、効果的な意思決定が行える組織形態となっているか。 | ・各種の意思決定を行う会議、委員会等の体制が把握できる資料(組織等相互関係図、関連諸規則等) | C1-1-2-1 | 各種の意思決定を行う会議、委員会等の体制が把握できる資料(組織等相互関係図、関連諸規則等) |
| | | 3 学生、教員、事務職員等、その他学外関係者のニーズを把握し、適切な形で管理運営に反映されているか。 | ・各関係者との懇談会、外部評価の実施状況が把握できる資料 ・学生の満足度調査や卒業(修了)生調査等のデータ | C1-1-3-1 | 各関係者との懇談会、外部評価の実施状況が把握できる資料 |
| | | C1-1-3-2 | 学生の満足度調査や卒業(修了)生調査等のデータ | | |
| | | 4 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上のための取組が組織的に行われているか。 | ・管理運営に関わる職員の研修の実施状況が把握できる資料 | C1-1-4-1 | 管理運営に関わる職員の研修の実施状況が把握できる資料 |
| | 1-2 管理運営に関する方針が明確に定められ、それらに基づく規定が整備され、各構成員の責務と権限が明確に示されていること。 | 1 管理運営に関する方針が明確に定められ、その方針に基づき、学内の諸規定が整備されるとともに、管理運営に関わる委員や役員の選考、採用に関する規定や方針、及び各構成員の責務と権限が文書として明確に示されているか。 | ・関係諸規則の整備状況が把握できる資料 | C1-2-1-1 | 学則(該当箇所) |
| | | | | C1-2-1-2 | その他規則(該当箇所) |
| | | 2 適切な意思決定を行うために使用されている学部等の目的、計画、活動状況に関するデータや情報が、蓄積されているとともに、学部等の構成員が必要に応じてアクセスできるようなシステムが構築され、機能しているか。 | ・学部等の目的、計画、活動状況に関するデータや情報の蓄積状況が把握できる資料 ・ウェブサイト等への掲載、アクセス状況が把握できる資料 | C1-2-2-1 | 学部等の目的、計画、活動状況に関するデータや情報の蓄積状況が把握できる資料(組織評価のための根拠資料一覧等) |
| | | | | C1-2-2-2 | ウェブサイト等への掲載、アクセス状況が把握できる資料 |
| | 1-3 学部等の目的を達成するために、学部等の活動の総合的な状況に関する自己点検・評価が行われ、その結果が公表されていること。 | 1 学部等の活動の総合的な状況について、根拠となる資料やデータ等に基づいて、自己点検・評価が行われているか。 | ・自己点検・評価の実施状況が把握できる資料 ・自己点検・評価報告書 | C1-3-1-1 | 10-01 自己点検・評価 |
| | | | | C1-3-1-2 | 自己点検・評価報告書 |
| | | 2 自己点検・評価の結果が大学・学部等内及び社会に対して広く公開されているか。 | ・評価結果のウェブサイトや刊行物での公開状況が把握できる資料 | C1-3-2-1 | ウェブサイト該当箇所 |
| | | | | C1-3-2-2 | 刊行物該当箇所 |
| 3 自己点検・評価の結果について、外部者(本学教職員以外の者)による検証が実施されているか。 | | ・外部評価の実施状況が把握できる資料 ・外部評価報告書 | C1-3-3-1 | 外部評価実施状況(調査票) | |
| | | | C1-3-3-2 | 外部評価報告書 | |
| 4 評価結果がフィードバックされ、管理運営の改善のための取組が行われているか。 | | ・評価結果のフィードバック状況を把握できる資料 ・各種委員会等の体制及び活動状況が把握できる資料(組織相互関係図、関連諸規則、議事録(活動記録)等) ・具体的改善方策の内容等 | C1-3-4-1 | 評価結果に基づく改善策を検討した記録(各種委員会議事録等) | |
| | | | C1-3-4-2 | 評価結果に基づく改善方策一覧 | |
| 2 施設・設備 | 2-1 学部等において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、有効に活用されていること。 | 1 学部等において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備(例えば、校地、運動場、体育館、講義室、研究室、実験・実習室、演習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設、図書館その他付属施設等が考えられる。)が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。 | ・各施設・設備の整備状況(部屋数、面積、収容者数、開館時間、パソコン等の数)、利用状況(講義室稼働率等)、整備計画、利用計画 ・バリアフリー化に関する施設・設備の整備状況、利用状況、整備計画、利用計画 | C2-1-1-1 | 施設・設備一覧 |
| | | | | C2-1-1-2 | 施設等の利用計画、利用状況 |
| | | | | C2-1-1-3 | バリアフリー化への配慮を示す資料 |

| | | | | | | | |
|--|-----|---|---|--|---|--------------------------|-----------------|
| | | 2 | 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが適切に整備され、有効に活用されているか。 | ・情報ネットワークの整備状況(パソコン等接続状況)、授業内外で学生の利用可能なパソコンの台数・利用規則等 | C2-1-2-1 | 情報ネットワーク整備状況 | |
| | | | | | C2-1-2-2 | 利用の手引き(？) | |
| | | 3 | 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員に周知されているか。 | ・各施設・設備の利用の手引きの作成状況、配布状況 ・学内ウェブサイト等による案内・周知状況 | C2-1-3-1 | 各施設・設備の運用方針 | |
| | | | | | C2-1-3-2 | 利用の手引き(？) | |
| | | | | | C2-1-3-3 | 学内ウェブサイト等による案内・周知状況を示す資料 | |
| | 2-2 | 学部等において編成された教育研究組織及び教育課程に応じて、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備されていること。 | 1 | 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されているか。 | ・図書等の資料(ソフトウェア、視聴覚教材等を含む。)の内容、冊数等のデータ、利用実績等 | C2-2-1-1 | 01-02 施設(附属図書館) |

備考
注1:「本務教員」とは、当該組織(大学)の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。なお、一人の教員の本務先は一つの組織(大学)とし、複数の本務先は持たないこととする。但し、本務先の振り分けについては、大学などの定義によるものとする。
注2:「資料・データ例」欄の網掛け部は、大学として事務的に提供できるデータを示す。
注3:「資料・データ例」欄に「指標」、「02-10」等で記載してある事項は、大学情報データベース(法人評価の際に大学評価・学位授与機構へ提出するデータベース)から把握できる指標・データ等